産土神社鑑定

神縁の社

ご案内帖

あなたには、生まれる前から
決まっていた神様がいます。

この小冊子では、実際の鑑定書や特典の誌面とともに、
「神縁の社」の産土神社鑑定がどのようなものかを、そっとご紹介します。

kamien-yashiro.jp

はじめに

産土神社とは

— 一生変わらない〝あなた担当〟の神様 —

産土（うぶすな）の神様とは、あなたが生まれた土地であなたを見守り続けてきた、一生変わらない〝あなた担当〟の神様。あなたがこの世に生を受けるその前から、このご縁は結ばれていました。いわば、**魂の親**のような存在です。

引越しをしても、名字が変わっても、産土の神様は変わりません。けれど多くの方が、自分の産土神社がどこにあるのかを知らないまま過ごしています。

神縁の社の鑑定方法 —— リーディングによる特定

神縁の社では、あなたが実際にお生まれになった場所（病院などの所在地）から半径約5km圏内の神社を、一社一社**リーディング**によって読み解き、もっともご縁の深い一社を特定します。

これは、神社庁への照会や地図上の検索で「一番近い神社」を調べる方法とはまったく異なるものです。地理的な近さではなく、あなたの魂と神様との〝縁の深さ〟を基準に選定するため、必ずしも生家の最寄りの神社になるとは限りません。

> 産土の神は、あなたがこの世に生を受ける遥か前から、
> あなたの魂を見守り、この土地へと導いた存在です。

こんな方に読まれています

自分の根っこを知りたい
生まれた意味や、変わらない拠りどころを確かめたい方。

人生の節目にある
転機・岐路で、進む方向をそっと確かめたい方。

神社が好き・参拝を大切にしたい
ただ「近い神社」ではなく、ご縁の深い一社を知りたい方。

母や家族のルーツを想う
血脈を通じて受け継いだものを、たどってみたい方。

大切な人へ贈りたい
ご家族や大切な方へ、その方の生まれた土地の神様を知る贈りものとして。

参拝しても、手応えが薄い
「近いから」で選んできた神社ではなく、本当にご縁の深い一社に手を合わせたい方。

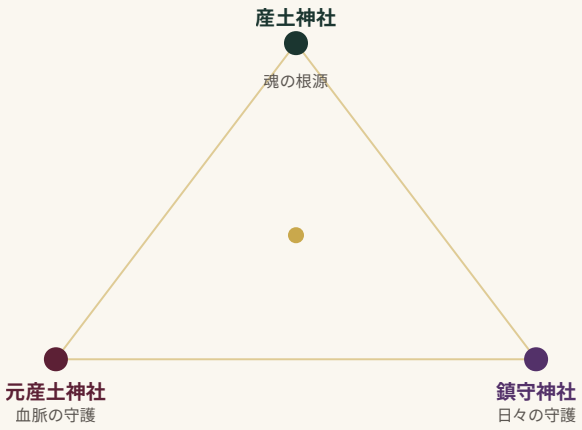
※当鑑定はリーディング（霊的感知）によるものであり、神社庁等の公的機関への照会サービスではありません。

三社の守護

三つの神縁

あなたを守護する神様のご縁は、一社にとどまりません。生まれた土地・母のルーツ・いまの暮らし——**三つの神社**が見えない糸で結ばれています。

神社	定義	守護の役割
産土神社	あなたが生まれた土地の守護神	魂の根源 一生変わらない守護の基盤。魂がこの世に降り立った瞬間から結ばれた、最も根源的なご縁。
元産土神社	お母様が生まれた土地の守護神	血脈の守護 母の血脈を通じて受け継がれた魂の記憶と、命の根源を守護。あなたのルーツのルーツ。
鎮守神社	現在お住まいの土地の守護神	日々の守護 今の暮らし・仕事・人間関係——現在進行形の人生を、最も身近な場所で見守る存在。



この三社を読み解き、ご縁の流れを一本に結び直すのが**神縁トライアングル鑑定（②）**です。

そして、四社目・五社目 ——「ご縁の社」

三社が〝生まれ・血脈・暮らし〟という**すでに結ばれたご縁**であるのに対し、最上位の**神縁巡礼デザイン鑑定（③）**で読み解く残り二社は、**これから結ばれてゆくご縁の社**。土地の縁ではなく、あなたの魂に足りない気（ちから）を補い、この先を後押ししてくださる神様です。学びを授ける社、道をひらく社など——おひとりずつ違う二柱が選ばれ、三社の三角形に光が加わって、ご縁は**五社の星形**として結ばれます。

鑑定の芯

なぜ、あなただけの言葉になるのか

産土神社鑑定は、「あなたの神社はここです」と一社をお伝えして終わるものではありません。**三つの読み**を重ね合わせ、そのすべてが一点であなたを指すまで、幾度も照らし合わせて綴ります。だからこそ、他の誰にも当てはまらない一冊になります。

其の一

リーディング

出生地5km圏の神社を一社ずつ感じ取り、魂とご縁の深い一社を特定。ご祭神の人物像まで読み解きます。

其の二

空（そら）の配置

生まれた瞬間の空の配置から、魂の設計図を読む。神様の守護の方向性と、あなたの持ち味が重なります。

其の三

縁暦（えんごよみ）

天の運びを暦に照らし、ご縁の深まる月と節目を割り出す。抽象論ではなく、日付のある指針としてお渡しします。

この三つは、別々に置かれるのではありません。**神社（リーディング）・魂（空の配置）・時（縁暦）**——三つの読みが同じことを指し示したときにだけ、その一節は鑑定書に記されます。矛盾は残さず、根拠は必ず神話・ご由緒・暦の巡りにひもづけます。だから、読み返すほどに「確かに自分のことだ」と静かに腑に落ちていきます。

占いのように「当てる」のではなく、
あなたの中にすでにあるものを、神様の言葉で〝確かめる〟。

三つが、ひとつを指すとき

たとえば——リーディングで〝水にゆかりの深い一社〟が浮かび、お生まれの瞬間の空の配置にも〝流れを司り、人をつなぐ〟性質が読め、縁暦でも水にまつわる月が節目に重なる。三つの読みが同じ方向を示したそのときに、はじめて「あなたは水のご縁に守られています」という一節が記されます。ばらばらの結果を並べるのではなく、**三つが重なった部分だけ**を、確かな言葉に変えていく——それが、あなただけの一冊になる理由です。

逆に、三つが噛み合わないところは、無理に言葉にしません。分からないことを分かったように書かないこと——それが、神様からお預かりした言葉を扱ううえで、いちばん大切な作法だと考えています。

※空の配置は、お生まれの瞬間の空から魂の傾向を読むためのものです。鑑定書本文では専門用語を使わず、やさしい言葉に訳してお伝えします。

お届けするもの

鑑定書という、世界にひとつの一冊

― 読み返すほどに、深くなる一冊 ―

鑑定書は、お渡しして終わりのものではありません。歳月の中で少しずつ意味を深めていく「文（ふみ）」のような一冊を、**製本してお届け**します。数年後にふと読み返したとき、かつて通り過ぎた一節が、そのときのあなたへの言葉として立ち上がる――そんな一冊です。

コースは三つ。読み解く神縁が広がるほど、鑑定書は一冊から二冊、三冊へと厚みを増していきます。表紙は同じ意匠のまま、あなたのお名前と、選ばれた神社のお名前が刻まれます。



① 神縁の結び目鑑定
一の書 ｜ 計22P



② 神縁トライアングル鑑定
二冊組 ｜ 計60P



③ 神縁巡礼デザイン鑑定
三冊組 ｜ 計106P

※実際の鑑定書の表紙より（お名前・神社名はサンプルです）

冊	頁	記されること（抜粋）
一の書 **神縁の結び目鑑定**	22P	あなたの産土神社とご祭神。魂のプロフィール、共鳴の必然、ご加護と魂の癒し、神様からのお手紙、ご挨拶文と守り言葉、縁暦・縁年、道しるべ。
二の書 **神縁トライアングル鑑定**	＋38P	元産土神社と鎮守神社。母から受け継いだ血脈の水脈、三社の役割分担と統合、ご縁・才・豊かさの見立て、二柱からのお手紙。
三の書 **神縁巡礼デザイン鑑定**	＋46P	ご縁の二社と、選ばれた理由。五柱が読み解くあなたの名、魂の来歴と旅路、五柱の神議り、守護バランス、神縁の曼荼羅、深層の魂のテーマ。

どのコースも、この芯となる一冊（**一の書**）から始まります。次のページから、それぞれの書に何が記されるのかを、一冊ずつご紹介します。

※すべてのコースの鑑定書を、印刷・製本した冊子（無線綴じ）に仕立ててお届けします（料金込み）。

一の書

神縁の結び目鑑定に、記されること

すべての鑑定の土台となる一冊。**あなたの産土神社と産土神さま**を軸に、魂の輪郭から日々の道しるべまでを一冊にまとめます。（一の書・計22ページ／全コース共通の芯）


魂のプロフィール

鑑定太郎様の魂のプロフィール

ご縁を読み解く前に、まずあなた自身の魂の輪郭を、八つの角度から描いてみましょう。生まれた瞬間の空の配置から読み取れる、あなたという魂の設計図です。ひとつひとつは短い言葉ですが、この八つが折り重なって「鑑定太郎」というただ一人の人が生まれています。のちの章で解き明かすご縁のすべては、この設計図の上に結ばれていきます。

あらかじめお伝えしておくと、あなたという魂には、一本の細くも強い背骨が通っています。それは「見えないものを感じ取り、その意味を求め、人と人のあいだへ橋を架ける」という流れです。下の八つは、その背骨から枝分かれした、あなたの持ち味の一つひとつ。読み進めるほどに、ばらばらに見えた資質が、美しくひとつにつながっていくのを感じていただけるはずです。

● 魂の本質
— あなたの中心にある光
見えるものと見えないものの境に立ち、その奥の「意味」を静かに求める、求道のたましい。答えそのものより、問い続ける歩みにこそ、あなたの魂は輝きます。問いは、あなたを迷わせるのではなく深くします。

● 感情の泉
— 心が安らぐとき
人の心の温度をそのまま受け取る、水のように深い共感力。場を穏えて誰かの痛みに寄り添えます。受け取りすぎて疲れやすい繊細さも、この泉の深さゆえ。泉は、注ぐ相手を選んでよいのです。

● 思考のかたち
— 世界との対話の作法
常識の一歩先に羽の扉を見つける独創。あなたの言葉には、未来から届いたような新しさがあり、時代のほうがあとから追いついてきます。その新しさは、必ずあとから証明されます。

● 愛と美の感覚
— 人との結びつき方
束縛より自由を、閉じた世界より広い地平を尊ぶ。所有し合うのではなく、並んで同じ景色を眺めること——それが、あなたの愛のかたち。自由の中でこそ、あなたの愛は深まります。

● 行動のパターン
— 魂を動かすエネルギー
表からは見えない深いところで、戦略的に粘り強く積み上げる。夢見る人に見えて、いざ決めるときは誰より速く、現実的に手が動きます。静かな戦略家が、あなたの中に住んでいるのです。

● 内なる光
— 秘められた感性
まだ形にならない気配を感じ取る繊細なアンテナ。理屈より先に「わかってしまう」この直感は、あなたの最も美しい資質です。その予感は、あなたに届く小さな神託です。

● 人に贈るもの
— 世界へのギフト
人と人をつなぎ、ばらばらだったものを結び直す温かさ。あなたがいると場がほどけ、初対面の人同士さえ、いつのまにか打ち解けています。結ばれた縁の輪が、あなたの財産になります。

● 魂の成長テーマ
— これから伸びる方向
軽やかな翼に、確かな根を。感じたこと・思い描いたことを、地に足をつけて一つずつ形にしていくことが、今生の伸びしろ。根が張るほど、翼は遠くへ届きます。


共鳴の必然

ご縁解説　鑑定太郎様と大物主大神様とのご縁

鑑定太郎様の魂との共鳴カテゴリ

浄化・癒し 高	学び・知恵 高	金運・豊かさ 中
健康・生命力 中	縁結び・人間関係 高	使命・魂の目的 高
創造・表現 中	変容・再生 高	守護・安全 中

一、あなたの魂の本質

鑑定太郎様の魂は、夜と朝のちょうど境目、空がまだ藍色のまま白みはじめる、あの一瞬のような輝きを持っています。完全な闇でも、まばゆい昼でもない。見えるものと見えないもの、語れることと語れないこと——その二つの世界の境い目に、あなたはごく自然に立っていられる人です。

多くの人は、目に見える事実だけを足場にしないと不安になります。けれどあなたは、まだ形になっていない気配、言葉になる前の予感、その場に流れる空気の機微を、肌で受け取ってしまう。電話の第一声だけで相手の調子がわかる。メールの文面から、書かれていない本音のほうを読み取ってしまう。あなたにとっては当たり前すぎて特技とも思えないこれらのことは、実は、誰にでもできることではないのです。

そしてその感受性の奥には、感じ取ったものの「意味」を静かに探ろうとする、ひそやかな求道のまなざしがあります。周囲が「気にしすぎ」と呼ぶその深さこそ、あなたの魂のもっとも美しい源泉なのです。そしてここに、もうひとつの大切な秘密があります。あなたのその深い輝きは、ひとりの静けさの中よりも、**志を分かち合う仲間の輪の中でこそ、いちばん強く灯る**ように設計されているということ。輪の中であなたの感受性は「みんなの気持ちを映す鏡」となり、あなたの求道は「みんなで向かう方角」へと形を変えます。深く感じられること、意味を求めずにいられないこと、それを輪の中で分かち合えること——それは弱さではなく、あなたという人の最も豊かな核。三輪の神様は、この核を見込んで、あなたを産土の子として迎え入れられました。

※実際の鑑定書の誌面より（お名前・内容はサンプルです）

産土神社の特定
出生地5km圏内から読み解いた、あなたの一社。ご由緒と、土地に積もってきた祈りの記憶まで。

ご祭神の真のお姿とお人柄
神話に描かれた御業から、その神様の気性・得意とする守り方までを描き出します。

魂のプロフィール
お生まれの瞬間の空から、あなたという魂の輪郭を八つの角度で読み解きます。

共鳴の必然
数多の神々の中で、なぜこの神様があなたの産土なのか。四つの響き合いから解き明かします。

ご加護と、魂の癒し
あなたが抱える繊細なテーマに、この神様の御手がどう届くのか。具体的な支えのかたち。

神様からのお手紙
ご祭神が一人称で語りかける、あなただけに宛てた手紙。神様の肉声のような言葉が、まっすぐ心に届きます。

ご挨拶文と、守り言葉
御神前で唱えるあなた専用の祈りの言葉と、迷った日に立ち返る一句。

縁暦・縁年と、道しるべ
一年の好機と節目、数年先の縁年と三つの転換点。「いまどの波の中にいるか」を確かめる物差し。

二の書

神縁トライアングル鑑定で、加わること

一の書（産土）に、**母のルーツを守る元産土神社**と、**いまの暮らしを守る鎮守神社**の二社が加わります。三つの社の役割を読み解き、ばらばらだったご縁を**一本の流れ**に結び直す、本格鑑定。（二の書・＋38ページ）



見立て　役割の見立て ── あなたの才が実る場所

続いての見立ては、仕事と役割。第一の書では、あなたの使命が「天と地のあいだの通訳」であることをお伝えしました。この頁で診るのはその先──**その才が、どんな場所で、どんな働き方をしたときに実るのか**です。

■ **才が実る場所には、四つの条件があります。** 一つめ、「**輪**」があること。あなたの力は、孤独な単独作業では半分しか出ません。志を分かち合える数人の輪の中で、感受性は場を読む力に、求道は皆の方角になる。二つめ、「**あいだ**」に立てること。専門家と素人のあいだ、部署と部署のあいだ、人と人のあいだ。翻訳者の立ち位置が空いている場所では、あなたは代えのきかない人になります。三つめ、**深く関われる少数であること。** 大量を浅く処理する仕事より、少数と深く関わる仕事。あなたの変容の力は、深い関わりの中でしか発動しないのでしたね。四つめ、**意味を感じられること。**「誰かの明日のためになる」と思えない仕事では、あなたの粘り強さは目を覚ましません。

■ **逆に、才が漏れていく環境。** 担得だけで動く場。意味の語られない数字だけの場。そして──境界のない感情労働。深く感じるあなたは、際限なく求められる場では、真っ先に水を吸い取られます。もしいま消耗を感じているなら、能力不足ではありません。水路が合っていないだけです。

> 「働き方は、水路ですよ。」──と、市杵島姫命様は仰います。「水が悪いのではありません。合わない水路は、変えてよいのです。」

■ **これからの伸ばしどき。** いまのあなたは、役割の組み替えの季節（のちの「見立て」で詳しく診ます）。この時期に意識したいのは、「四つの条件を満たす役割を残し、満たさない荷を返す」こと。そして数年先、社会での役割が大きく開く年（Vol.1の緑年・二〇三一年）に向けて、いま「あいだに立つ」経験をひとつでも積んでおくこと。その蓄えが、天職の年の土台になります。

なお、この見立ては「今の職場を続けるか辞めるか」という表面の問いには、直接答えません。四つの条件は、どんな肩書き・どんな場所でも携えていける、あなた専用の物差しです。転職の日も、独立の日も、役割が変わる日も──迷ったらこの頁に戻り、目の前の選択肢を四つの条件に照らしてください。

試しに今夜、いまの役割を四つの条件で採点してみてください。輪はあるか、あいだに立てているか、深く関われているか、意味を感じられるか──各一点で四点満点。三点以上なら、その場所はあなたの水路です。二点以下なら、辞める前にまず、欠けている条件を今の場所で足せないかを考える。点数は、あなたを裁くためではなく、次の一手を照らすためにあります。そしてもうひとつ。四点満点の場所は、めったにありません。三点でも十分に恵まれた水路です。完璧な場所を探し続けて動けなくなるより、いまの場所に欠けた一点を、自分の工夫で少しずつ足していく──そのほうが、あなたの才は、はるかに大きく実ります。

役割の見立て ― あなたの才が実る場所



見立て　豊かさの見立て ── お金と実りが巡る道筋

見立ての三つめは、豊かさ。お金の話を神様の書に載せることを、意外に思われるかもしれません。けれど三柱の御神徳を思い出してください──国造りと産業の神、製塩という産業を伝えた神、財福の女神。豊かさは、神々の本領なのです。

■ **あなたの豊かさは「結び目に宿る」型。** 生まれた空の設計図を読むと、あなたの実りの器は、独りで稼ぎ積み上げる型ではありません。**人を結んだ場から、巡ってくる型**です。あなたが誰かと誰かをつなぐ。整えた場で物事が動き出す。その結び目の働きが、紹介・信頼・声がかかるという形で、時間差の実りになって還ってくる。思い返せば、これまでの好機も、募集広告より「人づて」で来ませんでしたか。それがあなたの道筋です。ですから豊かさを増やしたいときの合言葉は、「稼ぐ」より先に「結ぶ」。結び目の数だけ、実りの入り口が増えます。

■ **器の材質は「安心」。** もうひとつの特徴は、あなたの豊かさの器が「安心」でできていることです。心が安らいでいる時間はお金も自然と整い、不安の時間は、なぜか出費も乱れる──心当たりがあるはずです。だから貯めたいときは、家計簿より先に、眠りと食事と足元の暮らしを整えること。五つの気の見立てで「地の気を厚く」とお伝えするのと、同じ処方です。

■ **そして、栓を抜くこと。** あなたの豊かさの流れを堰き止めている栓は、稼ぐ力の不足ではなく──**受け取ることへの遠慮**です。正当な対価に値をつけるためらい、「私なんかが」の一言。けれど、考えてみてください。あなたが誰かの仕事に喜んで対価を払うとき、それは相手への敬意です。受け取りを拒むことは、相手の敬意を押し返すことでもあるのです。

> 「値切るでないぞ──おのれの値を。」──湖の翁が、静かに仰いました。「そなたの結ぶ縁の値打ちは、そなたが思うより、ずっと高い。」

数年先には、愛と豊かさの縁が大きく開く年（二〇二八年）が控えています。それまでに「結んで、安心して、受け取る」──この三拍子を、暮らしの型にしておいてください。

最後に、出ていくお金の話も。あなたの型では、支払いもまた「流れ」の一部です。誰かの仕事に気持ちよく対価を払うこと、大切な学びや体験に投じること──出し渋りは、入りだけでなく流れ全体を細くします。惜しむべきは浪費であって、巡りではありません。

豊かさの器を育てる、小さな習慣もひとつ。「受け取り帳」です。お金に限らず、人からもらったもの──ご馳走、親切、紹介、ほめ言葉──を、月にいくつか書き留めるだけ。受け取った記憶は、放っておくと消えますが、書かれた記憶は器になります。受け取り上手は、記録から育つのです。そして受け取り帳が厚くなるほど、あなたは自然と「私は、こんなにも与えられている」と感じられるようになります。その満ち足りた感覚こそが、次の豊かさを呼び込むいちばんの磁石。乏しさの不安からではなく、満ちた安心から動く人のもとへ、実りはいっそう集まってくるのです。

豊かさの見立て ― お金と実りの巡る道筋

※実際の鑑定書の誌面より（お名前・内容はサンプルです）

元産土神社の特定

お母様がお生まれになった土地の守護神。血脈をたどるルーツの社と、そのご祭神を読み解きます。

鎮守神社の特定

いまお住まいの土地の守護神。日々の暮らしを最も身近で見守る社と、そのご祭神まで。

母から受け継いだ血脈の水脈

祖母から母、母からあなたへ。あなたの気質や才の「根」が、どこから流れてきたのかをたどります。

三社の役割分担と、統合

魂の根源・血脈の守護・日々の守護──三社それぞれの受け持ちを読み解き、ばらばらのご縁を過去からいまへと貫く一本の流れに結び直します。

ご縁の見立て

人とのご縁がどこで結ばれ、何によって深まるのか。出会いと関係の巡りを読み解きます。

才（はたらき）の見立て

あなたの才がいちばん活きる場所と、役割の形。力の出しどころを具体的に描き出します。

豊かさの見立て

お金と実りが巡る道筋。あなたの「豊かさの器」の型と、栓を抜くための処方まで。

二柱からのお手紙

元産土神・鎮守神──それぞれの神様から、あなたへ宛てた一人称の言葉を綴ります。

三の書

神縁巡礼デザイン鑑定で、加わること

三社に、土地ではなく**あなたの魂と響き合うご縁の神社二社**を加えた**五社**を読み解く最上位。魂の来歴と旅路、あなたの名に込められた祈りまで——いちばん深いところまで降りていきます。（三の書・＋46ページ）



魂の旅路　魂の旅路　現在 ── あなたが立っている場所

そして今、あなたは大切な分かれ道に立っています。これまで内へ内へと向かい、ひとりで意味を探し、ひとりで感じ取ってきたあなたが、いよいよその豊かな内側を「外へ」──人と分かち合い、未来へ手渡す側へと、向きを変えようとしているのです。長く水を湛えてきた泉が、ついに流れ出す川になろうとしている。それが、今この時期のあなたの姿です。

実際、めぐる天の働きを読むと、いまは新しい流れが力強く動き出す季節にあたります。この夏、人とのご縁と心の満ち足りを後押しする大きな追い風が次々と吹き込み、纏う空気そのものが数年ぶりに新しくなっていく──第二の書の見立てでお伝えした「脱皮・拡張・組み替え」の同時進行が、旅路の上では「泉から川へ」という一枚の絵になります。温めてきた思いが形になり、新しいご縁が結ばれやすい、これ以上ない出発の季節です。風は、待つ人ではなく、帆を張った人を運びます。帆を張るとは、大げさなことではありません。「やってみたい」と、口に出すこと。それだけで、風は見つけてくれます。

そして、この分かれ道に立つあなたのもとへ、五柱の守りが揃ったことは、偶然ではありません。旅立ちの装備は、旅立ちの直前に届くものだからです。根源の地図、血脈の針、日々の水筒、育てる若木、放つ灯──五つの装備を携えて、あなたはいま、川になる泉のほとりに立っています。立ち止まっていた一歩を、今こそ踏み出してよい時です。

泉が川になる兆しは、体感としても訪れます。誰かに話したくてたまらないことが増える。ため込んできたノートや下書きが、急に「出してくれ」と騒ぎ出す。新しい人に会う予定が、なぜか億劫でなくなる。そんな変化を感じたら、それが流れ出しの合図です。ただし、川になることを、無理に急がないでください。泉は、満ちれば必ずあふれます。あなたのすることは「せき止めないこと」だけ。完璧に整えてから出そうとする癖──金の座の仕上げ癖が、ここでは唯一の壁になり得ます。八分の出来で、そっと流し始めてください。

ここで、大切な誤解を解いておきます。「外へ向かう」とは、性格を明るく作り替えることではありません。あなたの内向の深さは、直すべき癖ではなく、これからの元手です。川になっても、水源が深い泉であることは変わらない──むしろ深い泉の川ほど、潤わないのです。人前で声を張る必要も、輪の中心で振る舞う必要もありません。書くこと、一対一で話すこと、少人数の深い場──あなたの水が最も美しく流れる水路は、静かな水路です。外向の形は人の数だけあります。あなたはあなたの形で、外へ向かってください。静かな川も、大河になります。むしろ、静かな川ほど深く、深い川ほど、遠くの海まで届くのです。

今この時期にもう一つだけ、心に留めてほしいことがあります。流れ始めの川は、行き先を知りません。それでいいのです。水は、低きへ低きへと流れるうち、おのずと海への道を見つけます。「何のために発信するのか」「どこへ向かうのか」──答えを先に用意してから流れようとしないでください。流れながら分かる。それが、水の民の進み方です。そしてあなたは、正真正銘、水の民なのです。潮を見る町に暮らし、水の女神に日々を守られ、水の魂を持って生まれた──流れることにかけて、あなたほど支度の調った人はいません。

魂の旅路 ― あなたが立っている場所



巡礼の暦　五社巡礼の暦　八年の縁年と、巡礼の重ね方

巡礼の暦

第一の書で授けた八年の縁年を、覚えておいでしょうか。飛躍と実りが交互に巡る、あの大きな波の暦です。五柱が揃ったいま、あの暦は「巡礼の暦」として、新しい使い方ができるようになります──**年ごとの主役の社へ、その年の巡礼を重ねる**のです。

- **2026年（飛躍・血脈と心の充足）** 今年の主役は元産土。鹿児島への旅が最も実る年です。 - **2027年（実り・発展の芽）** 五柱すべてと結び直す「巡礼元年」に。次頁のルートを。 - **2028年（飛躍・愛と豊かさ）** 主役は鎮守と、豊かさを見守る水の女神。例大祭の夏を大切に。 - **2029年（実り・自分らしさと使命）** 主役は産土。三輪でじっくり、方向の確認を。 - **2030年（飛躍・血脈）** ふたたび元産土の年。お母様との節目の旅に良い年です。 - **2031年（実り・天職）** 主役は研鑽の天神様。表現と役割が形になる年、梅の頃の参拝を。 - **2032年（飛躍・愛と豊かさの拡大）** 鎮守と天神様、江東の二社の年。 - **2033年（実り・学びの結実）** 主役は叡智の久延毘古命様。長年の学びが実を結ぶ年です。

こうして眺めると、八年の暦は、五柱が交代であなたの一年ずつを受け持つ「当番表」でもあったことが分かります。年の初めに主役の社を確かめ、その年いちばん丁寧な参拝を、その社に捧げる──それだけで、あなたの一年は、暦の波と美しく噛み合っていきます。

年の初めの作法として、「年始の一報」をおすすめします。一月のうちに、その年の主役の社へ──遠くて行けない年は、心の中で──「今年は、あなた様の年と伺っております。一年、よろしくお願いいたします」とご挨拶するのです。当番の神様は、名乗り出た者の一年を、ことのほか気にかけてくださいます。八年で一巡りしたら、暦はまた最初から巡ります。当番表は、生涯ものです。

五社巡礼の暦 ― 八年の縁年と、巡りの重ね方

※実際の鑑定書の誌面・特典より（お名前・内容はサンプルです）

ご縁の二社と、選ばれた理由

土地ではなく、あなたの魂と響き合う二社。足りない気を補う二柱が、学びを授け、道をひらく──なぜ選ばれたのか、その必然まで。

五柱が読み解く、あなたの名

五柱の神様が、それぞれの視点であなたのお名前に込められた祈りを読み解く「名の物語」。

魂の来歴と、旅路

魂がこれまでたどってきた道のりと、いま立つ分かれ道、これから向かう先。あなたの現在地を見晴らします。

五柱の神議り

五柱の神様が車座になって、あなたの人生をどう見守るかを語り合う──その様子を綴ります。

守護バランスの読み解き

五柱の守りが、あなたの人生のどこに、どう配置されているのか。過不足のない全体像を描きます。

神縁の曼荼羅

五柱の守りを一枚に結んだ図。中心にあなただけの御印を据えた、飾れる守りの曼荼羅。

深層の魂のテーマ

あなたが人生を通じて向き合う、いちばん奥のテーマ。その意味と、光の当て方まで。

五社巡礼のデザイン

五社をどの順で、どう巡るか。あなたのための巡礼の道筋と、旅の道しるべまで。

お手元に届く

鑑定書とともに、届く贈りもの

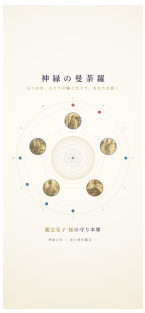
鑑定書は、読んで終わりではありません。ご縁を日々の暮らしに息づかせるための贈りものを、コースに応じてお添えします。**飾る・持ち歩く・書き込む・巡る**——手に取れるかたちで、神様とのご縁がそばに残ります。



神様カード
守護神のお姿を、スマホ待受&財布サイズで。



縁暦カレンダー
参拝によい月を、飾れる一年の暦に。



神様曼荼羅
五柱が結ぶ守りの輪。飾れる一枚（③）。



巡りマップ
日本地図に各社をプロット（②〜）。



巡礼ジャーナル
御朱印帳を兼ねた巡礼の記（③）。



結願之証
五社の巡礼を成し遂げた証（③）。



三社・五社のお守り
神様のお言葉を一枚ずつ（②〜）。



携帯用の御印
財布に入る御印&スマホ待受（③）。



名の物語ギフト
五柱が読み解く、名の一枚（③）。

※実際の特典より（デザイン・内容はサンプルです）

ここに載せたのは、贈りものの一部です。　次のページで、ひとつひとつの意味をご紹介します。コースが上がるほど、贈りものは静かに増えていきます。お届けの日にはじめてご覧いただく、お楽しみの一品も。

贈りものの意味

贈りもの、ひとつずつ

— 手に取れる形で、ご縁がそばに —

それぞれの贈りものには、暮らしのなかでの役割があります。〔②③〕はその特典が加わるコース、〔③〕は③のみ、無印は全コース共通です。

神様カード

守護神のお姿を、スマホ待受と財布サイズの印刷版で。一日に何度も、そっとご挨拶を交わせます。

縁暦カレンダー

参拝によい月を、飾れる一枚の暦に。印のついた月は、神様が心を向けてくださる合図です。

悩み別早見カード〔②③〕

迷ったとき、どの社に参ればよいかがすぐわかる一枚。暮らしのお守りに。

三社・五社のお守り〔②③〕

三柱（五柱）の神様のお言葉を一枚ずつ。お守り袋やお財布に忍ばせて。

三社・五社巡りマップ〔②③〕

日本地図に各社をプロットした、あなただけの巡礼地図。ご縁の広がりが一目で。

神様曼荼羅アート〔③〕

五柱が結ぶ守りの輪。中心にあなたの御印を据えた、飾れる一枚。在宅の守り本尊に。

携帯用の御印〔③〕

財布に入る御印カードとスマホ待受。お守りとして、いつも持ち歩けます。

巡礼の道しるべ〔③〕

各社へのアクセス・所要時間・経路QR、一年の遠征プランまで。巡礼の実用ガイド。

巡礼ジャーナル〔③〕

御朱印帳を兼ねた巡礼の記。冊子でお届けし、参拝の歩みを綴じていけます。

名の物語ギフト〔③〕

五柱があなたの名を読み解く一枚。名付けてくださった方への贈りものにも。

結願之証〔③〕

五社の巡礼を成し遂げた証。鑑定士の署名と朱印を添えて。

メール質問権

納品後6ヶ月以内、メールでのご質問にお答えします（①1往復・②2往復・③3往復）。

☾

そして、毎月とどく「月詠みレター」　〔③は1年間 標準付属〕

手元に残る贈りものに加えて、毎月あなただけの読み解きがメールで届く、一年間のお便りです。その月の天の巡りと、あなたの神縁を重ね合わせ、「今月はどんな気が流れ、どの社に心を向けるとよいか」を、やさしい言葉でお伝えします。読み返すたび、暮らしのそばに神様のご縁が静かに息づいていく——鑑定書をお届けして終わりにせず、〝活きたご縁〟であり続けるための、月々のしるべです。③は1年間 標準で付属。①②の方も、別途お申込みいただけます。

鑑定メニュー

三つの鑑定コース

読み解く神縁の広がりに応じて、三つのコースをご用意しています。

神縁の結び目鑑定 ①

33,000円 （税込）

まずは自分の産土神社を知りたい方へ。あなたの**産土神社（一社）**と産土神さまを読み解く、神縁の入口。

鑑定書 一冊・計22P ／ メール質問権 1往復（納品後6ヶ月以内）
特典：縁暦カレンダー ／ 神様カード（スマホ待受＋財布サイズ印刷版）

神縁トライアングル鑑定 ②

77,000円 （税込）

産土・元産土・鎮守の**三社**を読み解き、ご縁の流れを一本に結び直す本格鑑定。母から受け継いだ血脈の水脈まで辿ります。

鑑定書 二冊・計60P ／ 質問権 2往復（納品後6ヶ月以内）
特典：①のすべて ＋ 神様カード3社分 ／ 三社巡りマップ ／ 悩み別早見 ／ 三社のお守り

いちばん選ばれています

神縁巡礼デザイン鑑定 ③

110,000円 （税込）

三社に**さらにご縁のある神社2社を追加＝五社**を読み解く最上位。魂の来歴と旅路、五柱の神議りまで降りていきます。

鑑定書 三冊・計106P ／ 質問権 3往復（納品後6ヶ月以内）
特典：②のすべて ＋ 神様カード5社分 ／ 神様曼荼羅（A4＋待受） ／ 巡礼ジャーナル（御朱印帳兼用・冊子でお届け） ／ 名の物語ギフト ／ 結願之証 ／ **月詠みレターを1年間**

毎月5件限定 ｜ 納期 約1ヶ月 ｜ 全国郵送・オンライン完結

どのコースを選べばいい？ まず自分の産土神社を知りたい方は①、三社まで読み解く②、名前や五社のご縁まで受け取りたい方は③がいちばん人気。①②のお客様は、納品後6ヶ月以内・差額＋11,000円（再リーディング・再製本の実費）でアップグレードいただけます（レター購読者は期間中いつでも差額にて）。

※各コースの特典の詳細は公式サイトで。一部の特典はお届け時のお楽しみとしております。

一覧で選ぶ

三つの鑑定 早見表

鑑定書に記されることと、お届けする贈りもの——三つのコースの違いを一枚に。コースが上がるほど、読み解く神縁も、手元に残る贈りものも増えていきます。

	① 神縁の結び目鑑定 33,000円	② 神縁トライアングル鑑定 77,000円	③ 神縁巡礼デザイン鑑定 110,000円 いちばん人気
鑑定書に記されること			
読み解く社数	**1社**	**3社**	**5社**
産土神社（生まれた土地）	●	●	●
元産土神社（母のルーツ）	—	●	●
鎮守神社（いまの暮らし）	—	●	●
ご縁の二社（四・五社目）	—	—	●
鑑定書の冊数・頁	**一冊 22P**	**二冊 60P**	**三冊 106P**
メール質問権（納品後6ヶ月以内）	**1往復**	**2往復**	**3往復**
製本・納品	**印刷・製本した冊子（無線綴じ）を郵送** 全コース料金込み		
お届けする贈りもの			
神様カード	**1社分**	**3社分**	**5社分**
縁暦カレンダー	●	●	●
悩み別早見カード	—	●	●
三社・五社のお守り	—	**三社**	**五社**
三社・五社巡りマップ	—	●	●
神様曼荼羅アート	—	—	●
携帯用の御印	—	—	●
巡礼の道しるべ／ジャーナル	—	—	●
名の物語ギフト	—	—	●
結願之証	—	—	●
月詠みレター（毎月・1年間）	別途	別途	**標準付属**

●＝含む　／　—＝含まれません（別途お申込みで加えられる特典もあります）。①②の方は、納品後6ヶ月以内・差額＋11,000円で上のコースへアップグレードいただけます。

ご依頼の流れ

鑑定の流れ

お申込みからお届けまで、すべて郵送・オンラインで完結します。

1

お申込み

申込フォームに必要事項をご記入ください。生年月日・出生時刻・実際にお生まれになった場所（わかる範囲で番地まで）をおうかがいします。出生時刻は母子手帳でのご確認をお願いしています。

2

受付のご連絡とお支払い

受付可否をメールでご連絡します（毎月5件限定のため、満枠の際は翌月のご案内に）。カード決済（PayPal）のお支払いリンクをお送りします。お振込は個別にご案内します。

3

リーディング・鑑定書の執筆

約1ヶ月をかけて、あなたの神縁を読み解き、鑑定書を一文字ずつ仕立てます。

4

製本・お届け

印刷・製本した鑑定書と特典一式を郵送でお届けします。本文に厚手の上質紙を用い、マット紙の表紙でくるむ無線綴じ（文庫本と同じ、背を糊で固める綴じ方）の並製本です。ページが開きやすく、繰り返し読み返しても傷みにくい一冊を、全コース料金込みでお仕立てします。

5

ご参拝・質問権

鑑定書を手に、ご自身のペースでご参拝ください。納品後6ヶ月間、メールでのご質問にお答えします（①1往復／②2往復／③3往復）。

お届けして終わり、にはしません

- 納品後6ヶ月のメール質問権で、参拝や読み方のご相談に伴走します。
- 毎月5件限定。おひとりずつに、約1ヶ月をかけて丁寧に向き合います。
- ③には毎月の「月詠みレター」を1年間。①②のお客様も、別途お申込みいただけます。
- あとから上のコースへ進まれる方には、納品後6ヶ月以内・差額＋11,000円（再リーディング・再製本の実費）でのアップグレードを（レター購読者はお届け期間中いつでも差額にて）。
- ご参拝のご報告やご感想は、いつでもお聞かせください。おひとりの巡礼を、最後まで見守ります。

鑑定は、その場かぎりの答え合わせではありません。
お手元に残る一冊とともに、これから先の日々に寄り添うものです。

鑑定士

神山千星のこと

神山千星　かみやま ちせい



鑑定士　神山千星

妖精や小人の姿が、あたりまえに見える子どもでした。その感覚を、家族はただの一度も否定しません。だからこの力は閉ざされることなく、のびやかに育っていきます。

小学生になる頃には、エネルギーの世界を六つの感覚すべてで感じ取るように。けれど小学5年生のとき、開きすぎた感覚が強烈なサイキックアタックを呼び込み、以来二十歳までの十年間、リーディングの扉を固く閉ざしました。

ふたたび扉が開いたのは二十歳のある日。縄文の昔から幾度も巫女として生きてきた記憶がよみがえり、「神事（かみごと）」に目覚めます。やがてひとつの使命が形を結びました——**人と神様のご縁を結び直し、その方本来の霊性を取り戻すお手伝いをすること。**

その中心にあるのが、産土神社の鑑定です。産土の神様は、あなたが生まれるその前から決まっていた〝魂の親〟。このご縁を結び直すことこそ、霊性の根をいちばん深いところから支え直す道だと、数々の鑑定が静かに確信を深めてくれました。

※リーディングによる鑑定は、現在「神縁の社」の産土神社鑑定に限って行っております。それ以外のご相談にはお答えしておりません。

鑑定にあたって、大切にしていること

分からないことは、書かない

読み取れないところを、それらしい言葉で埋めることはしません。

怖がらせる言葉を、使わない

「祟り」「因縁」で不安をあおりません。ご縁は支えるためにあります。

おひとりに、ひと月を

毎月5件まで。使い回しの文章は、一行もありません。

主役は、あなたと神様

鑑定士は仲立ち。あなたが神様のもとへ歩き出せることだけを願って。

あなたの神様は、もう、そこにいます。
私はただ、そのご縁をあなたに手渡すお手伝いをするだけ。

神縁の社　鑑定士　神山千星

ご不安な方へ

よくあるご質問

問　出生時刻がわからないのですが、鑑定を受けられますか？

答　はい。まず母子手帳のご確認をお願いしていますが、どうしてもわからない場合は「不明」としてお申込みください。リーディングで丁寧に読み解きます。

問　遠方に住んでいますが受けられますか？

答　はい。お申込みからお届けまですべて郵送・オンラインで完結します。全国どちらからでもお受けいただけます。

問　鑑定はどのような方法で行うのですか？

答　鑑定士・神山千星によるリーディング（霊的感知）です。神社庁への照会や地図検索によるものではありません。

問　特定の宗教への勧誘はありますか？

答　一切ありません。当鑑定は特定の宗教団体とは無関係です。

問　あとから上のコースに変更できますか？

答　はい。①②をお選びの方は、納品後6ヶ月以内でしたら、差額＋11,000円（再リーディング・再製本の実費）にて承ります。毎月の神様レターをご購読中の方は、お届け期間中いつでも差額にて承ります。まず産土神社から知り、あらためて三社・五社へと広げていかれる方も多くいらっしゃいます。

問　鑑定してもらった内容は、人に知られませんか？

答　鑑定内容は、おひとりずつ大切にお預かりします。ご本人の許可なく、鑑定書の内容やお申込みの事実を外部に公開することはありません。

問　鑑定書はどのような仕立てで届きますか？

答　すべてのコースで、本文に厚手の上質紙を用い、マット紙の表紙でくるむ無線綴じ（文庫本と同じ綴じ方）に仕立てた並製本の冊子でお届けします（料金込み）。革装や箔押しのような装丁ではありませんが、開きやすく傷みにくい、長く読み返していただける一冊です。

問　引越しをしたら、産土神社は変わりますか？

答　変わりません。産土神社は生まれた土地の神様で、一生変わらないご縁です。変わるのは、いまお住まいの土地を守る鎮守神社のほうです（②③で読み解きます）。

問　家族や大切な方への贈り物にできますか？

答　はい。その方の生年月日・出生時刻・お生まれになった場所が必要になります。お届け先のご指定も承ります。ご相談ください。

お申込み・詳しくは

下記サイトよりお申込みいただけます。ご質問はメールでもお気軽にどうぞ。毎月5件限定のため、お早めのお申込みをおすすめします。

kamien-yashiro.jp

info@kamien-yashiro.jp